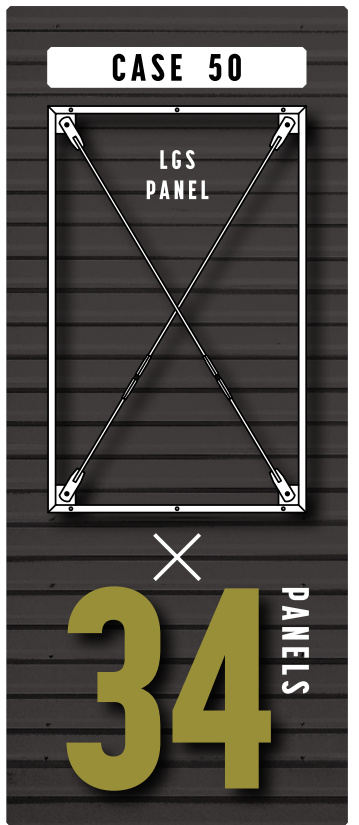


Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk) , Soma YOKOI Drafting/Reo KIRIBUCHI



デイトナが提案する
新しい建築のカタチ

DH L
DAYTONA HOUSE×LDK



Monthly
Theme

軽井沢に遂に出現する 高床式リゾートハウスが 表現するもの

軽井沢の森の中にふわりと浮かび上がったような高床式のフラットハウスが
ついに着工。デイトナハウス×LDK独自の建築技法の粋を集めた自信作です。

What's DAYTONA HOUSE ?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスした部分は、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

www.daytona-house.com

INFORMATION
LDKinc.

代表: 玉田 教士
www.ldk.co.jp
03-6228-4933

デイトナをはじめ、カーマジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデューサー会社 LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

森の中にフワリと浮かぶ高床式

軽井沢の西部に位置する追分は、海拔1000m。湿度の多い旧軽井沢エリアのイメージとは違って、風が通り抜ける爽やかな場所です。その森の中に、この度デイトナハウスのモデルハウス(販売目的)の建築が始まりました。建物の形状は「TYP ERF (改)」。お馴染みの高床式を駆使した平屋の拡大バージョンです。

この地域の建蔽率は20%。敷地面積は300坪。当然ながら敷地内には原生の檜やシラカバなどの木々が生えています。一般に軽井沢での建築に際して、地元業者はそれらの木々をほとんど伐採、伐根して宅地にします。しかし、今回はできるだけ原生の木々を残して建築しようという意図を持っています。コンクリートはほとんど使わない高床式鉄骨建築ですから、地球にやさしい、環境と共存するイメージを最大限に表現しているのです。

コロナで軽井沢の意味は激変したが
デイトナハウスにとっては想定内

コロナパニックによるソーシャルディスタンスのルール化は、都市へ過剰に集中していた様々な価値が再び周辺へ分散化することに拍車をかけています。すでに始まっていた兆候に、加速が付いて、別荘地としての軽井沢の位置づけも劇的に変化しています。そもそも東京から新幹線で1時間、自動車でも2時間余りの距離感。レストランや書店など文化的インフラのハイレベルな集積。そしてそれに加えて、いわゆるテレワークの普及がデュアルライフも含めた、居住地としての軽井沢を、新たに浮かび上がらせているのです。

デイトナハウスの場合、既存の交通インフラに頼らず、自ら自由に移動を楽しむ、遊牧民のモーターライフをテーマにしているのです。この社会の変化はむしろ想定内なのです。

ミッドセンチュリーデザインの
作法をフルスイングで表現

高床式が際立たせる建物のプロポーションは、大きく張り出したデッキスペースの効果で最も美しい。縦横比率を実現しています。また、天井仕上げがガラス一枚隔ててそのまま庇に伸びていく技法「スルー」を随所に散りばめて、自然との一体感を強調。これぞ正統派ミッドセンチュリーデザインの開放感です。でも夜はドイツ、ヴァレマ社の外部ブラインドでプライバシーをあくまで美しく完全確保。軽井沢という土地の価値や豊かさを、この建物は更に増幅して感じさせてくれることでしょう。

FLOOR PLAN

少しずれながら二段になって建物にリズムを与えている木製デッキの面積比率がよくわかる平面図。開放感のあるリビングルームの対極の側には、ベッドルームとガレージを配置。クルマ、バイクのみならず、アウトドアスポーツの各種ギア類も格納可能。至福のインナーガレージなのです。



天井には外部への指向性が底に連続していく木板を貼り、床には蓄熱性能の高い大判タイルを張る。この仕上げの逆転がミッドセンチュリー独特の作法。隣家と接する側の壁面の開口部はハイサイドライトのみにして、壁面の大谷石の和の質感を感じさせる。そんな軽快感と重厚感のコントラストが双方の特長を際立たせています。

Text/Atsushi TAMADA

デイトナハウスのライフスタイルのインターフェース DAYTONA HOUSE×LDK友の会スタート

デイトナハウスはこの度、建築の話ばかりではなく、もっとモーターライフやアウトドアライフと建築の関係を豊かなものにしていくため、新しいビジネスマッチングの仕組みをスタートさせます。それが「デイトナハウス友の会」です。当社規定でデイトナハウスのコンセプトと親和性の高い全国のモーター系、アウトドア系のショップをセレクトして、緊密な情報発信網を実際の店舗で展開していきます。その「化学反応」の中で、より豊かでアクティブなライフスタイルイメージが生まれ出てくることでしょう。ご期待ください。詳しくはデイトナハウスブランドサイトをご覧ください。



会員には
Tシャツ
プレゼント!!



世田谷ベースのリノベーションを敢行した際のデイトナハウスネットワーク「BLACK FRAMERS」の記念写真。このネットワークがクルマ、バイクのショップ網に進展していきます。

GLBを取り扱いたい不動産会社も大募集!!

DEF DAYTONA HOUSE ESTATE FRIENDS

全国で増殖を続けるガレージアパートGLBの賃貸管理や不動産業務全般を行う、「ライフスタイル型不動産屋さん」をネットワークするビジネスマッチングの試みも、同時に開始します。これによって賃貸するモーターフリークの新しい生活のカタチがストレスなく実現できるようになります。全国初の試みともいえる「モーターライフ」をテーマにした不動産管理の全国ネットワークです。詳しくはデイトナハウス×LDK本部までお問い合わせください。



北海道のデイトナハウスがヒートアップ! 函館の蔦屋書店にてイベント開催中



カルチャー・コンビニエンスという新しい概念の象徴的な店舗「函館 蔦屋書店」。その一角でデイトナハウス×LDK函館が実物の鉄骨を使用したブース展示を10月23日までの会期で行っています。期間中は各種説明会や設備相談会、ガレージアパートオーナー相談会などの企画も土日ごとに実施します。北海道のモーター & アウトドアフリーク必見のイベントです!

10/23
FRI
まで!!



熊本県大津町に建築中のGLB。2×4スパンの「BLACK HANGAR」が6世帯(内1世帯は3×4)です。

デイトナハウス×LDK 熊本シティ(ロフトコーポレーション)
熊本県熊本市中央区白山1-5-10 LOFT-1BLD
0138-83-2020 daytonahouse-loft-corp.jp



函館市北美原に建築中のGLB。3×4スパンの「WHITE BASE」を採用したゆったりタイプの6世帯です。

デイトナハウス×LDK 函館(ASOBO)
北海道函館市西栲町825-5 trailhead
0138-83-2020 daytonahouse-hakodate.com

入居募集も随時スタート!! GLBが全国で続々と進行中です

全国でガレージアパートGLBが続々着工しています。函館(北美原)、熊本(大津町)は鉄骨建て方が完了し、仕上げ工程に入りました。それぞれオープンを目指して、追い込みです。入居募集もすでに始まっています。その他、東京板橋、千葉市、福岡市などでも着工中です。GLB専用HPをご覧ください。

glb.daytona-house.com

フラットルーフが特徴的なGLBのニュータイプ WHITE BASE誕生!



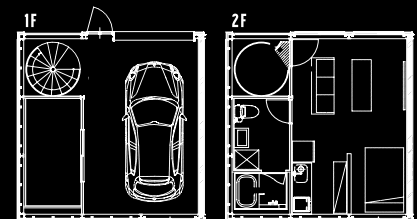
フラットルーフが特徴的な3×3スパンのニューラインGLB「WHITE BASE」が軽快なモーターライフのメッカ、静岡県磐田市に出現しました。

世田谷ベースの増築プロジェクト以来、GLBは米軍ご用達のR型屋根「RSパン」を使用した特徴的な外観と豊かな吹き抜けを持ち味にした「BLACK HANGAR」を中心に展開してきましたが、今回新しい商品ラインアップを加えました。屋根形状はオーソドックスな平屋根の箱型フォルムのGLB。その名も「WHITE BASE」です。

奥行きだけの長さだけを見ると短くなっていますが、階段がガレージ庫内に抵触せず、独立してあるために、ガレージの使い勝手を格段にアップさせています。GLBはクルマの取り回しを考慮した配置計画が必要ですが、敷地の条件によって、奥行きを抑えたい時などはこのタイプが有効的なのです。今回は敷地内に2棟並列で建築するため、この建物形状を選択しました。向かい合う2棟のGLBとオーナー住居棟で囲みこむ空間は、そこだけ別種の空気感、落ち着いた中にも活動的でシャープなイメージが満ち溢れているのです。

TBT GLB 現在入居者募集中!!

空間にリズムを与える、螺旋階段が外部のFIXサッシ越しに見てとれるWHITE BASE「STYLISH TYPE」の平面プラン。豊かな納戸が設定できる1F、居住エリアと水まわりが分節されたプライベート感のある2Fがその特徴です。



デイトナハウス×LDK 浜松(バランスデザイン)
053-482-7415 www.balancedesign.jp/daytonahouse

タイプは2種類。今回の建物のように螺旋階段のフォルムをファサードに反映したタイプと、階段を奥に設置して玄関兼収納の部屋を充実させたタイプを設定しています。階段が奥にあるタイプは、シャッター開口は3.5m。より一層クルマの出し入れが楽々の仕様です。



ガレージ内部の鉄骨の素材感とクルマやバイク、各種ギア類が共鳴する空間性は全く変わらず、GLBならではのどんなモーターライフにアジャストする内容になっています。

2Fの居室は、開口部を一般的なサッシを使っているため落ち着いた居室のイメージです。オーソドックスに使いやすい賃貸住居になっています。今回は久々に白い壁を採用。

